

質問

観光資源開発、整備、PRの一括委託を



高橋 綾夫

問 地域の特性を生かした観光開発とお客のニーズに沿った整備があつてPR戦略が決まる。開発、整備とPRを別々に行っている現状よりも一つの組織が一括で行う方が効率良く、より民間の力が十分発揮できると思うが

答 一括で任すことは出来ないと考えている。

問 観光協会は事業主の集まりです。事業主は最小の投資で最大の効果を上げるにはどうしたら良いか、常に考えています。そういった人達のノウハウを生かすべきと思うが。

答 観光協会で動いている人は勤めている人で、もうちょっときちんとできる体制にして頂きたい。



行政にもっと町民の声を反映できる環境整備を

問 町民の意見の持っている場所を明確にし、行政の持つ持っている情報が素早く正確に町民に伝わるような環境の整備を是非行っていただき、それが協働での町づくりを生かされるようにしていただきたいと思いますが。

答 広報、号外、ホームページ等で素早く正確な情報を伝えるよう努め、またパブリックコメントやアンケート、町民説明

問 各審議会委員の公募等で町民の意思が反映されるよう努めていく。

問 現在55ある町内会を住民と相談の元、再編し数を減らし、町内会長を任期中限定で役場の特別職員に任命し報酬を支払う。

答 そして年間ある程度の日数を特別職に専念していただき、行政からの情報を素早く正確に住民にお知らせし、また住民の

声を素早く整理し行政に届けていただく事を行っていたら、情報共有の元、協働での街づくりが行えると思いますが。

答 議会のほうでも取り上げ検討していただきたいと思う。

問 我が町は一学年が60人位、つまり平均すると一町内会に学年一人しかいません。子ども会やP

TA活動に支障をきたし、また鳥追い等地域行事の存続も危ぶまれています。学校の統合を機に町内会組織も再編し、今まで以上に町民の声を聞ける体制を作り、協働での新しい湯沢町を作っていた

答 町内会長会議に向けて検討していきたい。

湯沢学園開校時期の再検討を

問 しっかりとした施設を建設していただくためにも、子どもたちに安全な学び舎で安心して学ばせる為にも、校舎棟とアリーナ棟の完成後である来年夏休み後の9月、又は一年後の開校に再検討するべきと思うが。

答 人事異動やカリキュラム作成も新校舎使用前に前提に進んでいるため、開校時期を変更できる段階で無い。

問 中学校が一番の危険校舎、小学校を湯沢小学校又は土樽小学校へ一旦統合し、完成を待つて新

校舎に移ってはどうか。

答 土樽、湯沢どちらの校舎も耐震化されてない。今の方策が最良と考えている。

役場及び公民館敷地に喫煙所設置を

問 喫煙が法律で禁止されている以上、きちんとした分煙を考え非喫煙者に迷惑が掛からないような喫煙所の設置をするべきと思うが。

答 喫煙所設置は考えていない。